

平成 23 年 11 月 8 日

独立行政法人 水産総合研究センター

広島県尾道市周辺海域でのオニオコゼの資源回復に向けて

(独)水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所は、広島県尾道市周辺海域にオニオコゼ当歳魚を放流します。

1. 放流の背景と目的

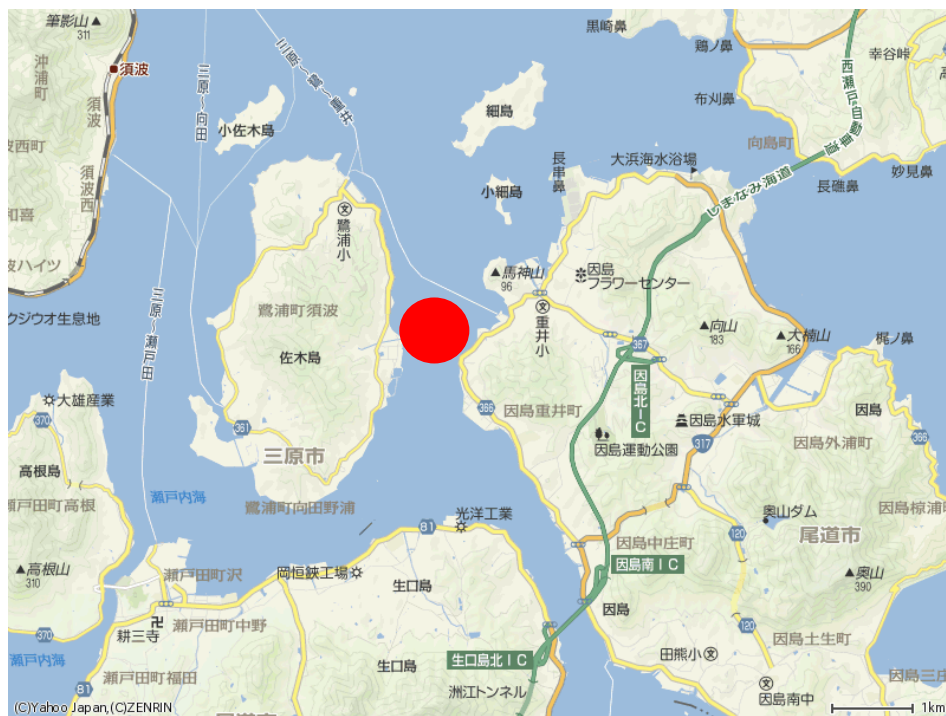
オニオコゼは、広島県をはじめ、瀬戸内海の各県の重要な水産資源のひとつであり、漁業者の貴重な収入源となっています。近年は本種の水揚げ量が減少しており、漁業関係者からは種苗放流による資源回復を望む声が上がっています。水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所では本種の資源回復のための技術を開発する目的で広島県尾道市周辺海域において種苗放流を行い、放流後の移動、分散状況を調べる定性調査、及び漁獲物に放流魚が占める割合を調べる定量調査を実施します。

2. 放流日時

平成 23 年 11 月 10 日 (木) 9:00

3. 放流海域

広島県尾道市因島重井町沖（地図中の赤丸印）



4. 問い合わせ窓口

〒794-2305 愛媛県今治市伯方町木浦甲 2780

独立行政法人水産総合研究センター 瀬戸内海区水産研究所

増養殖部 資源増殖グループ（伯方島庁舎）

主任研究員 太田 健吾

TEL.0897-72-0204, FAX.0897-72-2544

E-mail : keohta@fra.affrc.go.jp